



教育センター・育成センター所報

# GALILEI



モミジ

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は  
柏崎市教育情報支援シス  
テムを検索し、トップ画面の  
右上「GALILEI」をクリック  
してください。

平成 21 年 1 1 月号

柏崎市立教育センター

柏崎市青少年育成センター

# 11月号 CONTENTS



○ 今月の巻頭言 「どん底からのエネルギー」		
	第一中学校長 大倉 政洋	1
	(柏崎市刈羽郡中学校長会長)	
○ 教育センターだより		2
<b>アクセス</b> (教育研究班)		2
研修講座スナップショット、教育情報支援システム情報、セキュリティ情報		
<b>プロジェクト K</b> (教育研究班・科学技術教育)		6
研修会・事業の一コマ、行事・研修会予定		
<b>心の窓</b> (教育相談班)		8
児童理解と教育実践の充実を図るために		
カウンセリングルーム・ふれあいルームから		
○ 青少年育成センター通信		10
熱心な育成活動続く！、下校育成活動 他		
○ 所員随想つれづれ 「温浴のすすめ」	植木 厚夫	12
「感動を共有した2つの全国大会」	中山 博迪	
○ 教育センター12月の予定		14
○ 教育センター10月の利用状況		15



◆後期がスタートして約1ヶ月が過ぎました。今まで経験したことがない「新型インフルエンザ」が猛威をふるい、各学校の教育活動に多大な影響を与えています。これから冬を迎え、従来の「季節型インフルエンザ」とも併せて、どのような流行経路をたどっていくのか心配でなりません。

さて最近「モンスターペアレント」という言葉を耳にするようになりました。これは学校に対して自己中心的で理不尽な要求を繰り返す保護者を意味する和製英語で、向山洋一氏の命名とされています。

こうした保護者が一人でも出現すると、教職員はその対応に膨大な時間を奪われてしまいます。その結果、他の児童・生徒のための教材研究、授業準備、生徒指導、部活指導などの時間がなくな



り、場合によっては学校全体にも悪影響を及ぼしてしまいます。適切な対応がされればその影響は最小限にとどまりますが、担任一人が抱え込んでしまう場合などでは逆に関係がこじれたり、担任自身が体や精神を病んでしまったりする事例も珍しくありません。

今年度上半期の教育センターカウンセリングルームの利用状況をみると、不登校や発達障害にかかわり、ネグレクトや経済困窮など家庭基盤の弱いケースが増えています。また保護者が学校や教師に対して不満や不信を訴えるケースも僅かですが増えています。

学校は、家庭・地域と共にあります。厳しい社会・経済情勢になってきていますが、お互いに信頼関係を築いた上で、連携・協力しながら児童・生徒の教育にあたりたいものです。(nh)

今月の巻頭言

## 「どん底からのエネルギー」

柏崎市立第一中学校校長 大倉 政洋  
(柏崎市刈羽郡中学校校長会長)



つい先日の朝日新聞のスポーツ欄に載っていたある一つの記事が、私の心を捉えました。スポーツジャーナリストの増田明美さんと、盲目のピアニストで、バン・クライバーン国際コンクールで優勝した辻井伸行さんの母いつ子さんの対談の記事でした。面白い組み合わせの二人ですが、二人には共通した「心の叫び」があったということです。

増田さんは、高校時代、貧血に悩まされ、思うように走れない時代がありました。監督から「マネージャーをやれ」と言われ、どん底に突き落とされた気持ちになったといいます。しかし、その後が、たくましい。日記に「今にみている」と書きつづり、猛練習に励んでいったのです。

一方のいつ子さんは、授乳時もいつも目を閉じている息子の伸行さんを見て異変を感じ、崖から突き落とされた気分だったといいます。しかし、やはり、その後が、たくましい。日記に「このままでは終わらない」という言葉を書きつづり、持ち前のバイタリティーと行動力で20年以上も伸行さんを励まし続けたのです。

「今にみている」「このままでは終わらない」という心の叫びの他に、この二人には、共通のエネルギー論がありました。「人間というものは、心底悔しい思いをしないと湧いてこないエネルギーというのがある」と一人が言えば「マイナスからのエネルギーってすごいものがある」ともう一人が答えていました。更に今、たどり着いている境地にも共感し合うものがあるようなのです。それは、「人は、とにかく良い結果ばかりを追い求めるが、良い結果というのは、生きていて幸せだと感じる時に自然と生まれるものだ」という境地です。スタートは、闘争心むき出しでも、目指す事への歩みの中で、幸せを感じる事が一番のエネルギーになり、充実した「生」を実感できることになるのだろう・・・と深く感じ入った訳でございます。



# アクセス

No.96	平成21年11月25日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	---------------	------------	--



## 研修講座スナップショット!



9月末から10月に行われた研修講座の様子を受講者の感想を通してお伝えします。

### 9月29日(火) 体験学習プログラム

国立立山青少年自然の家 中澤 正明 様

実技を伴う研修では実効性があります。学校教育に社会教育の手法を入れる有効性を学びました。体験活動と学力の相関はあるのではと考えます。感動が学びに連結(直結)するのです。そこからやる気、学習への勇気(エネルギー)になると思います。指導に有効な研修の場の提供をありがとうございました。

体験活動のキーワードは“感じる”ということだと思いました。自然を感じる、他者を感じる、自分自身を感じる、愛情尊敬感謝の気持ちを感じる等、今子どもたちに「知ってほしい」「考えてほしい」と思うことばかりが、今日の演習やお話を聞いて頭に浮かんできました。様々なプログラムや手法を紹介していただき、とても参考になりました。ぜひ活用していきたいと思います。ありがとうございました。



### 9月30日(水) 学校届出文書

学校教育課指導兼管理主事 吉田 淳一 様



事務職員という立場上、これまで教頭先生とは文書のことについて話すことがよくあったのですが、その際疑問に思うことがいくつかありました。今日の研修でその疑問が解けたので、とてもよい勉強になりました。これからも様々なことに対して調べることをし、少しでも他の職員の助けになれるよう取り組んでいきたいです。

本当に役に立ちました。教務主任として、もう一度勉強しなおさないといけないと、気を引き締めました。ありがとうございました。

### 10月15日(木) 国語教科指導法 I

学校教育課指導主事 関原るみ子 様

PISAショックを受けての県小教研の対策の中で、具体的な学習指導の方策が提案されていることを知った。「書く」力を伸ばすために、自分の学校でも、10分間のミニ作文など、時間を制限して書く経験を積ませようと考えているところである。論理的な思考力や表現する力はすぐに身に付くものではない。日々の小さな積み重ねを大切にしていきたい。飯塚先生の実践発表も大変参考になった。単元構成を工夫することが子どもたちの興味関心、読む力、書く力を伸ばすことにつながることを改めて感じた。



## 10月21日(水) 生徒指導事例検討Ⅰ

教育センター指導主事 矢沢 欣也

いじめ問題に対する事例を読み、話し合いをしたことで、自分の取組について改めて考えたり、対応の仕方について学んだりすることができた。今年度生活指導主任となり、先生方からいろいろな問題を聞かされているが、なかなか的確なアドバイスや対応が取れずにいる。今後勉強していかなければならないと感じた。ありがとうございました。

今日は生徒指導の事例についてじっくりと時間をかけて検討することができ大変有意義でした。特にいじめについては、予防的な措置が非常に重要であると思った。一人一人を大切にする、学級のふれあいを大切にするなど基本的なことではあるが普段から意識しなければならないと思いました。また、問題についての事後の対応のあり方についてもっと学習したいと思いました。



## 10月23日(金) 教科等における道徳教育

中越教育事務所指導主事 若林 勝 様



新学習指導要領、道徳教育推進教師・・・と、新しくスタートしたことに対して、どのように取り組むべきか悩んでいたところに、具体的なお話をしていただき、大変参考になりました。ありがとうございました。

道徳の時間の学習を心の教育へ広げていくために、学校の中では週1時間の学習だけでは不十分なことは当然だと思います。そこを日常的に推進していくために教科等と関連させていくことが大切だということが改めて分かりました。計画を見直していくことで、もっと日常的に道徳教育の視点をもつことができると思います。できることから始めていかなければならないと思いました。ありがとうございました。

今、校内で「生きる力」を育てるためのクロスカリキュラム作りを進めています。それを充実させていくことが自校の全体計画(2枚目)の整備のつながっていくことが確認できました。貴重な情報提供をありがとうございました。

## 10月27日(火) 食育授業講座Ⅰ

学校教育課指導主事 池田 弘 様

柏崎市は、授業研を行うだけでなく、今回のような検討会を行うことができるなんて、とても良い機会だと感じました。今回の検討会を行ったことで、当日の授業をしっかりと把握して見ることができ、授業者だけでなく参観する側も勉強になり、とてもありがたいです。

家庭科における食の授業を行ったことがないので、今回指導要領や前後の授業との関わりや目標、評価の設定の仕方について、大変勉強になりました。また、他の栄養士さんから「自分が授業をしたら」という目線から、同じ内容でも使用する教材や流れが異なり、いろいろな考えにふれることができ参考になりました。今後は5年生でも授業を行おうと思っているので、大変勉強になりました。ありがとうございました。



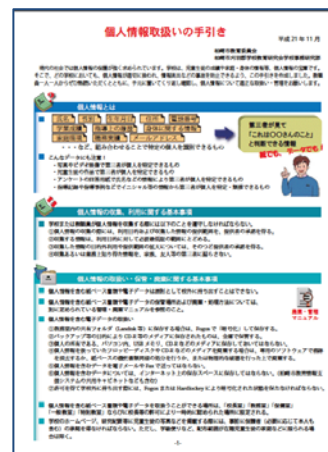
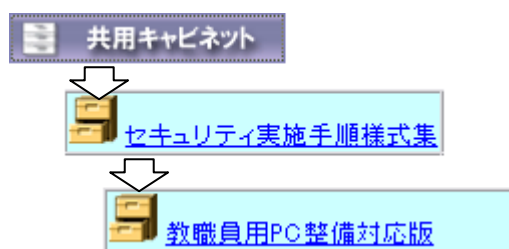
## ■ ■ ■ 教育情報支援システム情報 ■ ■ ■

### 講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル/備考
H21.10.20	長尺印刷入門	長尺印刷入門.pdf	テキスト第7版(H21.10.20)
		利用手順フローPX7500S.PDF	おおまかな利用手順を流れ図で示したもの
H21.11.13	Excel活用4	Excel活用4.pdf	テキスト第6版(H21.11.13)
		Excel活用4例題.xls	演習用例題
		Excel活用4名簿管理サンプル1.xls	名簿管理のサンプル(マクロを含まない)
		Excel活用4名簿管理サンプル3.xls	名簿管理のサンプル(抽出や兄弟関係のセットを自動化するマクロを含む)

### 共用キャビネット

教職員用 PC の整備に伴うセキュリティポリシーの変更に関連して、様式集の一部が変更になりました。新しいセキュリティポリシーの本格実施は来年4月からとなりますが、一部の手順は教職員用 PC の整備とともに実施されることとなります。関連する新しい様式は「共用キャビネット」→「セキュリティ実施手順様式集」→「教職員用 PC 整備対応版」フォルダ内に登録してありますので、ダウンロードして使用してください。



また、校内におけるセキュリティポリシーの研修などで活用していただけるように、ポリシー変更の要点と、「個人情報取扱いの手引き」の改定版も登録済みですので、併せてご活用ください。

## ■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■

### 12月に実施される情報関連講座のご案内

#### ◆ H21.12.08 (火) 記録型 CD・DVD の活用

CDやDVDの基礎知識(メディアの種類や書き込み方式など)を学び、データの保存、音楽CDの作成、写真アルバムの作成など、目的別の活用法と実際の手順を学習します。以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

CD や DVD のメディアの種類と用途、目的別活用法、  
書き込み方式(ディスクアットワンス、トラックアットワンス、パケットライト)、  
ライティングソフトによる書き込みの手順



## ●H21.12.24(木) デジタルビデオ編集入門

WindowsXP 標準のムービーメーカーを使って、miniDV カメラからのビデオ映像の取込・編集と、テープやDVD への出力手順について学習します(ただし、DVD への出力などの一部の作業については、視聴覚ライブラリに用意されている機器やソフトウェアでの作業となります。各自がお持ちの環境で同じことができるとは限りませんので、ご了承ください)。パソコンを使用したビデオの編集や、編集した映像を DVD する方法などについて興味のある方や、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。



デジタルビデオ編集の流れ、miniDV、IEEE1394、コンポジット、S-Video、ビデオキャプチャ  
デジタル編集、DV-AVI 形式、WMV 形式、クリップの分割、クリップのトリミング、切り替え効果、  
特殊効果、静止画の利用、タイトルの挿入、クレジットの挿入、サウンドの追加、ビデオの出力、  
DVD の作成

## ■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

### 📁 セキュリティホール情報

マイクロソフトより、11 月 11 日付で 11 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能を ON にする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS09-063 Windows の重要な更新	Web Services on Devices API の脆弱性により、リモートでコードが実行される (973565)	Windows Vista 2008 Server		
2	MS09-064 Windows の重要な更新	ライセンス ログ サーバーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (974783)	Windows 2000Server (企業向けの更新)		
3	MS09-065 Windows の重要な更新	Windows カーネル モード ドライバーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (969947)	Windows 2000,XP, 2003 Server,Vista 2008 Server		
4	MS09-066 Windows の重要な更新	Active Directory の脆弱性により、サービス拒否が起こる (973309)	Windows 2000 Server, XP,2003 Server, 2008 Server (企業向けの更新)		
5	MS09-067 Excel の重要な更新	Excel の脆弱性により、リモートでコードが実行される (972652)	Excel2002,2003,2007, 互換機能パックなど		
6	MS09-068 Word の重要な更新	Microsoft Office Word の脆弱性により、リモートでコードが実行される (976307)	Word2002,2003 など		

は Windows Update または Microsoft Update, は Office Update から更新を実行します。

なお、Office が 2002(XP)以降なら Microsoft Update を利用すると、まとめて実行することができます。

**注意** **警告** **重要** **緊急** は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

## 小学校学年別研修会 第4学年「もののかさと温度」

日時 10月22日(木) 15:00～

内容 ふくらむことを視覚的にとらえることができる教材を紹介し、つまづきやすいところの指導法について、具体的に実験をしながら研修しました。空気の上昇説の子どもの意識を膨張説に変えるために有効な教材作りも行いました。



学校ですぐに使える教材を作ることができ、また単元の流れを予習することができて安心です。子どもの前に立つのが楽しみになりました。

## 秋の星空観察会

日時 11月6日(金) 19:30～

講師 柏崎天文同好会 会長 松村 昌明 様

内容 木星, 月, アンドロメダ銀河, プレアデス星団, こと座のリング星雲, はくちょう座の二重星アルビレオなどを天体望遠鏡で観察し, 夏の大三角形～秋の四辺形～冬の星座への移り変わりを実感した観察会になりました。絶好のコンディションのもと, 倍率の異なる天体望遠鏡3台, フィールドスコープ5台, 双眼鏡4台は常に行列の途切れることがありませんでした。

## 生活科理科研修会「おもしろ実験・工作」

日時 11月19日(木) 16:00～

内容

- ・ **結晶のひみつ**...塩化アンモニウムが再結晶する様子は、まるで試験管に雪が降るようです。
- ・ **ビー玉万華鏡**...ポリカーボネートミラーとビー玉を使って、手軽で美しい万華鏡を作りました。
- ・ **ヒミツの手紙**...洗剤で書いた見えない文字が、紫外線 LED によって浮かび上がります。
- ・ **ホバークラフト**...CD とフィルムケース, 風船を使って, 長く動き続けるおもちゃを作りました。等速直線運動の教材にも・・・。
- ・ **オリジナルキャンドル**...手軽に色を重ねあわせるキャンドルづくりを行いました。クリアファイルやアルミカップを使って様々な形に・・・。
- ・ **紙でつくるホイッスル**...工作用紙で簡単にできるホイッスル。やはり材料の準備が簡単な物は人気です。



- ・まゆ玉ころりん...パチンコ玉をアルミホイルで包み、空きかんに入れて振るだけ、不思議な動きをするカプセルができます。
- ・ブーメラン...厚紙をホチキスでとめるだけ、ひねりを調節して揚力を実感。
- ・ビー玉ゆびわ...加熱したビー玉を水に入れて急冷すると内部に細かい亀裂の入ったキラキラ指輪が作れます。 等々

## 要請による研修会

要請による各種研修会や実験教室を、学校やコミュニティーセンターなどに出向いて行いました。

星空観察，実験教室などは，お早めにご連絡ください。

## 1 1月下旬～12月中旬のおもな行事、研修会等の予定

### 青少年のための科学の祭典2009 柏崎刈羽大会

期 日 11月21日(土)

会 場 新潟工科大学

内 容 全18ブースの出展により、現象の不思議を体験し、楽しみながら原理に気づかせる実験などを行います。子供たちは原体験があってはじめて、その仕組みを知りたくなるものです。子どもたちが今後の科学概念を伸ばしていくための原点となるような多くの体験を用意します。



### 小学校学年別研修会 第4学年「人の体のつくりと運動」

期 日 11月26日(木)

内 容 新内容の骨と筋肉の動きの実験器の製作や、手羽先を使った簡単解剖観察の実習、またストローと手袋を使った手の骨格モデルの製作などを含む研修会です。

### 小学校学年別研修会 第3学年「じしゃくのひみつ」

期 日 12月2日(水)

内 容 磁石につくもの・つかないものを調べる実験や、明かりがつくもの・つかないものとの比較、磁石そのものの不思議を体験する実験などを通して、磁石の性質についての見方や考え方を養い、実感を伴った理解を促す指導についての研修です。

### 理科を語る会 (主催 上越科学技術教育研究会)

期 日 12月6日(日)

会 場 高陽荘

内 容 上越教育大学 准教授 大場孝信 様よりフォッサマグナと世界ジオパークについてご講演いただきます。

### 他...要請による各種研修会

天体観察会・実験教室・科学クラブ・地層観察会 など

平成21年11月25日

# 心の窓 (教育相談班だよ)

1 2 3

柏崎市立教育センター 〒945 0833 柏崎市若葉町2番31号

(代表) 23 - 4591

(Fax) 23 - 4610

## 教育相談 「児童理解と教育実践の充実を図るために」



柏崎市立荒浜小学校

当校は、市の北部海岸部に位置する全校294名の中規模校です。漁師町の荒浜地区と住宅街の松波地区から児童が通学しています。教育目標「学ぶ子 高まる子 きたえる子」の実現を目指し、職員が一丸となって日々教育実践に当たっています。縦割り班やあいさつ運動など、高学年を中心にしてみんなが気持ちよく過ごせる学校づくりに努めています。

子ども達が望ましい人間関係を結び、安心して充実した学校生活を送れるよう、次のことに取り組んでいます。

### 2種類の学校生活アンケートによる教育相談

6月と11月に「健康アンケート」を実施し、それをもとに児童全員に教育相談を実施しています。普段の見取りでは発見できない悩みなどを聞き取り、児童理解や学級経営の見直しを図っています。

「健康アンケート」とは別に、5月、7月、10月、12月、2月の各月10日に「心の健康調べ」を実施し、必要に応じて教育相談を行っています。「心の健康調べ」では、「心の元気度」や「今、がんばっていること」「クラスのことになって気になっていること」など、児童の気分や小さな悩みを理解し継続的な指導理解の充実を図っています。

### 職員の共通理解を図る取り組み

月2回、「子どもを語る会」を実施し、学級の様子や職員の共通理解を必要とする児童について情報交換を行い、配慮を必要とする児童には全職員共通した対応ができるようにしています。

また、不登校傾向の児童や特別な配慮を要する児童の担任のバックアップ体制作りとして「不登校対策委員会」「サポート委員会」を実施しています。生徒指導部、養護教諭、管理職を交えて情報の共通理解を行い、全校体制で課題解決に当たることができる組織体制を作っています。

(文責 神林 史正)

## <教育相談班 12月の予定>



### \* カウンセリングルーム

#### いろいろ体験グループ

- (中学校) 4日(金) 18:30~20:00
- (小学生A) 11日(金) 16:00~17:00
- (小学生C) 11日(金) 16:30~17:30
- (小学生B) 18日(金) 16:30~17:30
- (中学生) 21日(月) 18:30~20:00
- (中学生) 22日(火) 18:30~20:00

### \* ふれあいルーム

- 3日(木) 保護者会
- 9日(水) スケート教室
- 21日(月) 通級終了日



## <カウンセリングルームから> つながる心 ~ つながる社会



カウンセリングルームでは、保護者の方との定期的な面談をとおして、お子さんの現状やその変化をとともに見守り課題を一緒に考えるなど、継続的なカウンセリングを行っています。

お子さんのこととして相談を受けますが、保護者の方は、自責や悲しみや怒りや無力感など計り知れない苦悩を抱えていらっしゃると思います。困難に直面したとき、人は誰もが、なかなか解決行動に移せるものではありません。自身の抱える辛さが何かしら伝わったと思えたとき、前向きに取り組もうとする心の変化が現れます。お子さんの心身の状態やどんなときに心配な状態となるのかなど状況の把握は必要ですが、原因探しや問題に対する指導はあまり効果がありません。むしろ、どうなったらよいと思うか、何が出来ると思うかなど、未来に向けた取り組みが状態の変化をもたらします。これは子どもにも言えることで、不登校のお子さんに10年後の自分の姿を質問すると、社会とつながり生き生きと生活する未来を語り、そして徐々に気持ちの変化が現れます。解決は相談者自身によって構築されるものであり、支援とは誰もが持つ本来の力を発揮できるように支えることと考えます。安心を提供できる相談員でありたいと思います。

先日、妙高市で開催された厚生労働省主催による「子どもの虐待防止推進全国フォーラム」に参加いたしました。平成12年に児童虐待防止法が制定されてから10年、途中、虐待防止法、児童福祉法の改正など法的な整備がなされる中、児童相談所の専門性の強化や社会福祉事務所における要保護児童対策地域協議会の設置など体制は整いつつあるものの、児童虐待件数は年々増加傾向にあり、平成20年度、42,662件、10年前の約6倍という深刻な現状です。

児童虐待は特別な家族の問題ではなく、どこにでも誰にでも起こり得る状況です。子どもの心のSOSに気づく視点や親の苦悩を分かち合える関係の必要を感じます。

フォーラムでは、予防的な取り組みや体制の機能強化、保護と自立支援の課題などが提示され「孤立させない、孤立しない、子どもも親も援助者も」というメッセージで閉じられました。

カウンセリングルームでは、「どうなさいましたか？・・・それは心配ですね。一緒に考えていきましょう。」から始まります。「どうした？ 元気ないね。何かあったの？力になるよ。何でも言ってね。」などの声が地域にあふれ、安心を提供できる社会でありたいと願います。(文責:本間良子)

## <ふれあいルームから>



## ともだちの 効果



ふれあいルームに来る子どもたちの中には、友人関係で失敗している子が多い。不登校の要因が一つである場合はほとんど無く、学習の遅れや友人関係や家族関係など様々な問題が複合的に絡み合っており、結果的に不登校という形になってしまう。その中でも友人関係は子どもたちにとっては、毎日を楽しく過ごせるかどうかに関わる大切な問題で、そこが安定しているかどうかによって、心の安定も変わってくる。勉強が嫌い。先生と合わない。クラスに嫌いな子がいる。それでも一緒に遊んだり、悩みを共有したりできる友人がいたら学校に向かう気持ちも違ってくる。

ふれあいルームに来ている子どもたちも、皆それぞれ違った友人との距離感を持ちつつも、居心地の良い友人関係を欲している。学校で友人関係に失敗し、その失敗を回復できないまま不登校になって、同級生たちと距離ができると、自分の在籍しているクラスの中に自分の居場所をなかなか求められなくなってくる。

ふれあいルームに初めて来た時に、不安そうな硬い表情をしていた子が、ほんの少し他の子と言葉を交わしたことで、新しい人間関係に希望を持って、だんだん表情豊かになって元気が出てくる姿を何度となく目にしてきた。「ともだちって良いものなんだ」というイメージを持つ第一歩として、ふれあいルームは良い場所だと思う。

(文責 ふれあいルーム 寺澤朋法)



<b>育成センター通信</b>	0823	柏崎市青少年育成センター
		〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

## 12月の予定

日	曜	こと	が	ら	日	曜	こと	が	ら
2	水	昼間	育成	活動					
		(5班,	6班)						
8	火	座談	研修	会			・	情報	交換
		会							
25	金	夜間	育成	活動			(10・12班,	三中P	瑞穂中P)

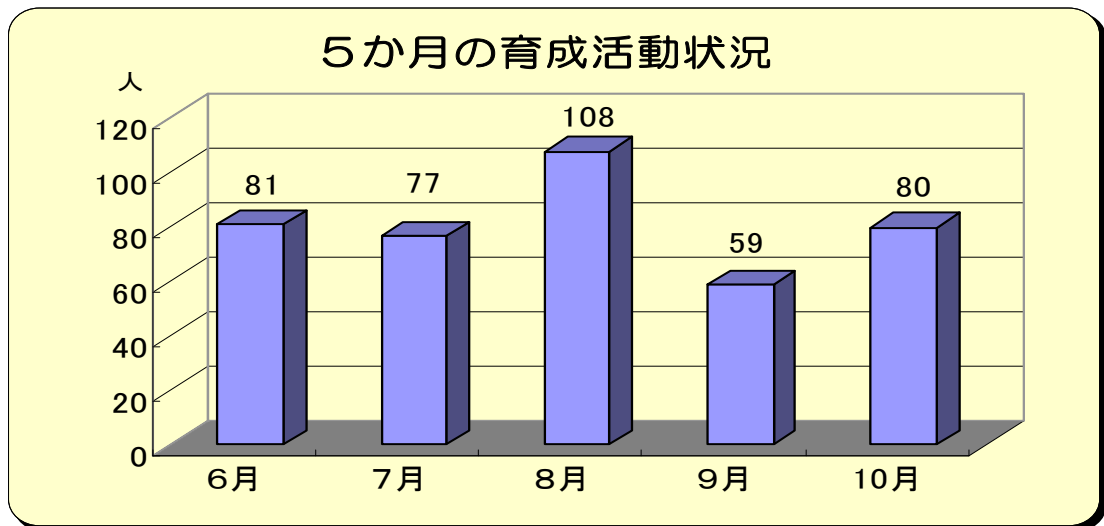
# 熱心な育成活動続く!

## ~6・7・8・9・10月の育成委員の活動状況~

今年6月に新しい青少年育成委員が委嘱されて早いもので5か月余りが過ぎました。街頭育成活動・啓発活動・社会環境浄化活動・研修活動に熱心に参加していただきました。5か月間で延べ405人の方々が参加しました。育成委員1人当たり平均6回参加したことになります。中には18回参加された方や10回以上参加された方が9人いました。このように育成委員の方々の熱心な取組ぶりがうかがえます。

この結果、市内の不審者情報件数が今年度に入ってから3件にとどまっています。また、市内にはピンクちらしがほとんど見当たらなくなりました。駅付近では、「高校生の挨拶がとても良い」「高校生の電車の待ち方が良い」などの声を聞きます。

今後とも当センターでは、青少年が大人の犯罪に巻き込まれたり非行に走ったりしないように関係機関と連携を密にして青少年の健全育成活動を推進していきます。



# 平成21年度 青少年健全育成大集会

## ～講演会の開催決まる～

来る1月23日（土）午後1時30分から市民プラザ（海のホール）で平成21年度青少年健全育成大集会を開催します。この中で講演会を実施します。講師は下記の通りですので、市民の皆さんお誘い合わせのうえご来場くださるようご案内申し上げます。

◆講師 **渡辺 真由子**（わたなべ まゆこ）

慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所講師



「インターネット・テレビ・新聞など、メディア側の意図で作られた情報に惑わされず、正しいメディアとの付き合い方を指導するジャーナリスト。元テレビ局記者としての現場経験と最先端のメディア・リテラシー理論に基づき、情報から子どもを守り、真実を見抜くノウハウを伝授。いじめ報道制作の裏側、メディアとジェンダーなど独自の切り口が好評」

◆著書 『大人の知らないネットいじめの真実』（ミネルハ書房）

『オトナのメディア・リテラシー』（リベルタ出版）

◆演題 「深刻化するネットいじめ～その現状と大人の役割」

◆入場 無 料



## 下校育成活動

当センターでは、下校時の児童生徒を対象に街頭育成活動（以下、下校育成活動という）に力を入れています。年間を通して計画的・継続的に実施しています。

高校生下校育成とは、柏崎駅構内や柏崎駅周辺で高校生を対象に育成活動を行うことです。電車で通学する高校生の駅構内でのマナー（駅舎内や待合室での過ごし方・電車の待ち方・電車内での過ごし方など）について育成委員が声掛けをしながら育成活動に当たっています。参加している育成委員によると、「最近の高校生は、とても良い挨拶をしてくれる」「ハキハキと受け答えをしてくれる生徒が目立つ」「ほとんどの生徒が声掛けを素直に聞いてくれる」などと話しています。

小中学生下校育成は、当該地区ごとに育成委員が小中学生を対象に育成活動を行うことです。児童生徒が下校時に事故・事件に巻き込まれないようにというねらいで育成活動を行っています。小中学生の下校の仕方が乱れたり、安全意識が薄くなったりする時期を見計らって育成活動を行っています。地区によっては、地区防犯パトロール隊とともに実施している所もあります。地域ぐるみで取り組む姿が見られるようになってきました。

## 温浴のすゝめ

研究員 植木 厚夫



インフルエンザが流行っています。特に子どもたちの間で爆発的に流行しているようです。どこに出かけても手指消毒用のアルコールを見かけますし、マスクを見ない日はまずないくらい、市内のインフルエンザ対策の意識の高さを感じています。学校でも、マスクの着用を原則とし、ドア、手すり、机などのよく手が触れるところをアルコールでふき取るなどの対策がなされているようです。しかし、一旦流行の波が収束してきたように見えても、また再燃したりと、冬本番を目前に控えた今、まだまだ長い戦いになることが予想されます。

私も外出時はマスクを着用し、爪を短く保ち、手洗い・うがいを励行し、アルコール消毒のウェットティッシュは欠かさないようにしています。しかし、体内に入るウィルスを完璧に水際で防ぐというのは、なかなか難しい課題のようです。

そこで、感染を防ぐための手だてを講じるとともに、感染しても発症しないよう免疫力を高めることにも重点を置いて、子どもたちに呼びかけることも必要ではないかと感じています。

免疫力を高める方法として、栄養バランスの良い食事、規則正しい生活などの他に、私はお風呂の効能についてもっと注目されるべきだと思っています。

「皆さんは何のためにお風呂に入っていますか？」子どもたちに聞いてみると、体をきれいにするため、気持ちいいから、...などの答えは返ってきますが、意外に「体を温める」という最も重要な役割をきちんと認識していない子どもたちが多いことに驚いたことがあります。だからこそ、寒い季節になってもお風呂は朝のシャワーだけ、という子どもが増えているのでしょう。

体が冷えて体温が1 下がると、免疫力が3 割程低下するといわれます。反対に、体温を1 上げると免疫力は5 ~ 6 倍にまで高まるため、しっかりお風呂に浸かることは手軽で効果的に体温を上げ、免疫力を高めるとてもよい手段といえます。

体を温めると免疫力が上がるのは、免疫細胞であるリンパ球が増え、よく働いてくれるようになることと、その免疫細胞を活性化するHSP(ヒートショックプロテイン)がたくさん作られるようになることが理由としてあげられます。このHSPは特に、がん細胞や病原菌を見つけて殺す力を持つNK細胞(ナチュラルキラー細胞)の働きを強化します。

HSPを増やすには、熱ストレスを与えること、具体的には週2 回程度の高温浴が効果的です。(医師による治療中の方を除く。十分な水分補給もお忘れなく。)体温を、37 38 へと上げることを目指して、私は、最初40~41 度のお湯で約10 分間、その後少し温度を上げて42 度のお湯で約10 分間温浴するようにしています。お風呂からあがった後も、バスタオルや毛布などを身体に巻くなどして10 ~ 15 分ほど体温を保つようにします。

この高温浴は一度行くと約4 日は効果が持続し、反対に毎日行くと効果が低下してしまうそうなので週2 回程度にとどめ、残りの5 日間は心地よいと感じる温度でゆっくりとお風呂を楽しむようにすると良いようです。

保護者の皆様、子どもと一緒にぼかぼかお風呂で、子どもたちをインフルエンザから遠ざけてみませんか。



## 感動を共有した2つの全国大会

教育センター  
所長 中山 博迪



若いころから、陸上競技の観戦が好きで、ソウルオリンピックや世界陸上大阪大会など、回数は多くありませんが世界のトップアスリートの競技を直に見ては、夢や感動をいただけてきました。また、陸上課外の指導を離れてから「日本陸連公認審判員」の資格を取得し、競技役員としてのボランティアを始めて、かれこれ20年以上になりました。

今年は、新潟県で「トキめき新潟国体」（文科省主催）や「全国障害者スポーツ大会」（厚労省主催）があり、例年より陸上競技役員としての出番が多くありました。上記の大会だけでも、リハーサル大会等も含めると延べ10日間ほど、新潟市にある東北電力スタジアムへ出向きました。このような大会には、今後二度と巡り合わないだろうとの思いもあり、毎朝7時に競技場集合、午後6時までという超ハード(?)なスケジュールでしたが、任を務めさせていただきました。

「国体」では、番組編成員（予選、準決勝を通過した選手の次レースのレーンを組む）でしたので、決勝種目は観戦も可能という幸運に恵まれました。国内のトップクラスの選手がほとんど出場したこともあり大変白熱したレースが展開されました。日本新記録が2つ、ジュニア日本新記録が1つ、大会新記録も31という記録ラッシュの大会でもありました。おまけに新潟県は、45年ぶりの天皇杯・皇后杯の獲得で国体閉会式後の県選手団の盛り上がりはすごく、その時の感動が今でも脳裏に浮かんできます。

「障害者スポーツ大会」では、ウオームアップ係として本番を迎える選手の練習（調整）のサポートをさせていただきました。ほとんどの選手が、コーチの他に介助員を同行していました。

練習（調整）が終わり競技場へ向かう選手・コーチからは、一様に「ありがとうございました」とお礼の言葉があり、私も「頑張ってください」と一言励ましながら送り出しました。

そんなこともあり「障害者スポーツ大会」では、競技そのものを観戦する時間はほとんどありませんでしたが、各都道府県代表の選手やコーチと短時間でしたが心のふれあいをもつことができました。どの選手からも身体などの障害を乗り越え、記録更新に向かってひたむきに努力する姿が伝わってきて、健常者の大会（国体）とはまた違った意味での感動をいただきました。

国体では柏崎市や刈羽村でも、いくつかの競技が行われ、それらを支える役員やボランティアの皆さんのお陰で、大変素晴らしい競技が展開され、多くの市民、村民に夢や感動を与えました。

どの種目も上位入賞するには、大変な労力と時間と資金が必要ですが、地元のスポーツ振興に大きな影響を与えることは確かです。

子どもたちの運動離れや体力低下が叫ばれている昨今ですが、スポーツに熱中したり感動したりする体験を、若いうちに是非味わわせたいものだと思っています。

今年行われたスポーツのビッグイベントを思い出しながら、1年をふりかえています。

## H21年度 教育センター事業の参加・利用状況

研修講座・事業名		6月の 利用数	7月の 利用数	8月の 利用数	9月の 利用数	10月の 利用数	H21年度 利用合計数
教育 研究 班	専門研修講座 *	6回 140人	8回 226人	12回 320人	8回 223人	4回 56人	42回 1,076人
	共催研修、研修講座	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	2回 94人
	学校の要請研修会	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人
	調査研究員会,教科研修員会	3回 3人	0回 0人	0回 0人	1回 1人	2回 2人	7回 31人
	教育情報化研修講座 *	2回 14人	8回 49人	11回 137人	4回 40人	2回 4人	32回 300人
	情報教育主事の要請支援等	23回 220人	20回 211人	7回 19人	10回 393人	13回 95人	111回 1,148人
	その他の相談・利用・参加数	1回 1人	0回 0人	1回 2人	0回 0人	0回 0人	2回 3人
	教科書センター利用閲覧数	172人	36人	5人	6人	6人	229人
教育 研究 班・ 科学 技術 教育	理科研修講座 *	2回 27人	2回 27人	12回 101人	4回 45人	3回 16人	28回 338人
	学校等の要請研修	1回 80人	4回 543人	1回 19人	1回 102人	3回 137人	13回 893人
	地域の自然研修・観察会	2回 24人	1回 69人	1回 101人	0回 0人	0回 0人	8回 335人
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	2,500人	0人	1,210人	2,499人	113人	8,564人
	理科教育の相談・支援	58件	65件	65件	60件	37件	375件
	理科教材・物品の貸出 (教職員研修の合計)	4件 118人	68件 80人	33件 178人	80件 122人	151件 54人	823件 800人
	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数 9件 のべ相談件数 49件	31件 63件	20件 47件	17件 73件	17件 73件	176件 438件
学校訪問相談	11回	19回	9回	12回	10回	80回	
家庭訪問相談	訪問対象者数 2人 訪問のべ回数 8回	2人 6回	1人 2回	1人 4回	1人 5回	11人 39回	
電話相談	1件	3件	1件	1件	2件	14件	
ソーシャルスキルトレーニング	4回 21人	6回 33人	4回 22人	1回 6人	5回 26人	25回 137人	
ふれあいルーム在籍人数	小学生 5人 中学生 8人	5人 8人	6人 8人	6人 10人	7人 11人	37人 61人	
ふれあいルーム通級日数	22日	15日	3日	19日	16日	110日	
ふれあいルーム通級のべ人数	小学生 25人 中学生 90人	36人 71人	6人 14人	28人 105人	31人 95人	159人 490人	
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)	0人	0人	0人	0人	2人	9人	
教育団体, P T A, 市民等の利用	415人	341人	299人	243人	261人	1,974人	
<b>教育センター事業の参加・利用総数</b>		<b>3,872</b>	<b>1,897</b>	<b>2,432</b>	<b>3,938</b>	<b>1,137</b>	<b>17,716</b>

日	曜	研修・行事・会議	内部事務・日程等	出張・関係事業等
1	火	研・教育課程「田尻小学校研究発表会」		出・心のケア研修会（長岡：小林）10:00 *学校教育課（多目）9:00～16:00 *養護教員会（第一研）15:00～17:00 教育課程研究会（田尻小 所長・矢沢）
2	水	科・「小3 磁石のひみつ」15:00	所内会議 13:00	中通小学校計画訪問（矢沢）PM 学校訪問（槇原小学校）9:20
3	木	研・保健体育「ニュースポーツ」15:00 ふ・ふれあいルーム保護者会 18:30		学校訪問（槇原小学校）8:10
4	金	相・いろいろ体験グループ（中②）18:30		授業実践研修会（柏崎小：所長・矢沢・栗田）
5	土			
6	日			上科技 理科を語る会（植木）
7	月	相談班会議 13:00		
8	火	研・学校保健体育「性教育講座」15:00 情・校務の情報化「記録型CD・DVDの活用」15:00		学校訪問（比角小学校）8:10
9	水	ふ・スケート教室（アクアパーク）9:30		就学相談 13:00 学校訪問（槇原小学校）9:20 一人一台PC推進委員会 15:00
10	木			出・県地区セン所員研修会（植木） 学校訪問（槇原小）8:10
11	金	相・いろいろ体験グループ（小A/C）16:00/16:30	広報1/20号〆切	出・県地区セン所員研修会（植木）
12	土			
13	日			
14	月	相・相談班会議 13:00		若手サポート支援（第一中：矢沢）PM
15	火	研・「生徒指導事例検討Ⅱ（授業における生徒指導）」15:00		*事務研第4回グループ連絡会（第一研）15:00 文教経済常任委員会
16	水			若手サポート支援（瑞穂中：矢沢）PM 学校訪問（槇原小学校）9:20
17	木			出・中越地区心理士会（長岡：小林）13:00 学校訪問（槇原小学校）8:10
18	金	研・学校経営「特別支援教育体制づくり」13:00 相・いろいろ体験グループ（小B）16:30		学校訪問（比角小学校）11:10
19	土			
20	日			
21	月	ふ・通級終了日 相・いろいろ体験グループ（中①）18:30		
22	火	相・いろいろ体験グループ（中②）18:30		
23	水	天皇誕生日		
24	木	情・校務の情報化「デジタルビデオ編集入門」13:00		
25	金			
26	土			
27	日			
28	月			
29	火	年末休業		
30	水			
31	木			

研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修  
育・育成センター 出・出張 \*・施設貸出 【 】は未確定の行事・時間



ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者  
で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方  
法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも  
ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造  
と検証の精神が必要であるという趣旨から  
情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情  
報とともに、柏崎の教育を広く発信してい  
きます。

所報「GALILEI」 平成21年11月末日発行

表紙写真撮影 中山 博迪



## 柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591

FAX 0257-23-4610

E-mail [k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp](mailto:k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp)

## 柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601

FAX 0257-23-4610

E-mail [ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp](mailto:ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp)

〒945-0833 新潟県柏崎市若葉町2 31